

教科別授業改善推進プラン（生活科）

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・季節ごとにかいた観察カードを比較することで、植物の成長や変化に気付くことができた。
- ・自分の気付きや考えをもち、友達に伝えたり、文章に書いて表現したりすることができるようになった。

(2) 課題

- ・自分の考えや思いを表現する力に関して個人差が大きい。
- ・植物の変化や身近な人々との関わりについて、直接的な経験や体験が少ない。

2 重点課題

1年	<ul style="list-style-type: none">・身近な自然に関心をもち、季節の特徴に気付いたり、働きかけて楽しんだりすること。・身近な人々との関わりに気付き、自分の役割について考えること。
2年	<ul style="list-style-type: none">・動植物を観察する際に、成長の変化に気付き、自分の考えや思いを詳しく表すこと。・身近な人々との関わりに気付き、自分の考えをもち、表現すること。

3 授業改善策

1年	<ul style="list-style-type: none">・身近な自然を観察したり、活用して楽しんだりする活動を行う。児童のつぶやきから気付きを取り上げ、全体に広げていく。・自分たちの生活を支えている人たちの姿に目を向けさせ、自分たちにできることを考えさせる。・活動後の振り返りの時間を十分に確保し、自分たちの活動の価値に気付くことができるようにする。
2年	<ul style="list-style-type: none">・栽培を行う際は、栽培する場所を工夫して、細かい変化にも気付かせる。・国語の学習と関連付け、詳しく表す言葉を示し、具体例を挙げながら表現できるようにさせる。・ねらいを明確に示す。児童一人一人に声を掛け、気付きや思いを引き出して表現するように的確な助言をする。
2学年 共通	<ul style="list-style-type: none">・自然のよさや変化に気付くことができるようにするために、実物に触れる機会を多く設けたり、体験活動を充実させたりする。・カード等を活用し、自分の気持ちや思いを考え、表現させる機会を増やす。